

## 【第10回 奈半利町ちびっこトライアスロン ルール・注意事項】

競技ルール 注意事項	<p>(1) 全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大会スタッフの指示や注意にしたがってください。</li> <li>・ 計測システムを使用するため、立ち入り禁止区域には入らないようにご協力ください。</li> <li>・ 参加者の安全のためスタッフが必要と判断した時は、本人の意思に関わらず、競技を中止させることがあります。</li> <li>・ ゼッケンは胸、左腰につけてください。</li> <li>・ 記録証は、表彰式後に渡します。</li> </ul> <p>(2) スイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浮き栈橋から、飛び込みスタートとなります。</li> <li>・ 飛び込んだ時に、ゴーグルが外れないように気をつけてください。</li> <li>・ 海の状況により、スタート方法が変わることもあります。</li> <li>・ 安全面を考慮し、長袖、運動靴、ライフジャケットを着てもらいます。</li> <li>・ サンドダルは不可。アクアシューズ、マリンシューズは可能ですが、運動靴を推奨します。</li> </ul> <p>(3) バイク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年までは、バイク時もライフジャケットを着けたままでしたが、暑くて蒸れ、熱中症になることも否めません。今年からバイク時は任意とします。</li> <li>・ ヘルメット、長袖、肘当て、膝あては装着してもらいます。</li> <li>・ 脱いだライフジャケットは、ライフジャケット置き場に、置いてください。投げたり、親に渡すのは禁止です。</li> <li>・ ライフジャケット脱着作業は、トランジションエリアへAクラス(1・2年)の保護者1名のみ手伝い可能です。</li> <li>・ ただしAクラスで脱着の補助をする場合は、保護者が持っていくください。</li> <li>・ 使用するバイクの種類は問いませんが、よく整備され走行に危険がないものとします。</li> <li>・ ヘルメットをスタート時点で、しっかり被れているか確認することもございます。途中でズレている場合は、走行中に止めて直すこともあります。</li> <li>・ B・Cクラスでライフジャケットの脱着作業が難しい選手は、ライフジャケット置き場にてスタッフがお手伝いします。</li> <li>・ こちらの肘あて、膝あては、脱着するのに時間がかかる可能性があるため、スタート時、スイムからつけてもらい、マラソン時も装着しても構いません。</li> <li>・ トランジションエリアから自転車コースの坂をあがるところまでは、自転車をついで移動し、スタート地点から乗ります。※別紙参照</li> </ul> <p>(4) ラン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱中症対策として、バイクが終わりランへ行く前に給水地点にて、必ず水分補給していただきます。</li> <li>・ 計測システムを使用するためゴールラインを走りきる事、ゴールラインを戻らないこと。</li> <li>・ ゴール後は、スタッフの指示に従ってください。</li> </ul>
その他	<p>(1) 熱中症などが心配されますので、各自水分補給や体調管理をお願いします。</p> <p>(2) 万全の体調で臨めるよう、無理をしないようお願いいたします。</p> <p>(3) タープなどで日かげがありますが、各自テントやタープで海辺に日かげを作ってもらっても大丈夫です。</p> <p>(4) 参加者が多いため、参加者同士のご協力をお願いします。</p> <p>(5) 海にウニがいる可能性がありますので、サンダルなどではなく、脱げない運動靴を履いてもらいます。</p> <p>(6) 参加費は、参加をキャンセルした時や、競技が中止になっても返却しませんのでご了承ください。</p> <p>(7) 駐車場ではゴミ、タバコの吸殻を捨てないように、必ず持ち帰ってください。木材団地なので危険で、そのような行為が見られた場合出場できません。</p> <p>(8) 体調不良などでキャンセルする場合は、メール (info@spomax.jp) にてご連絡ください。</p>
保護者の方へ	<p>(1) 保護者や付き添いの方は、大会中もスタッフの指示に従っていただきます。</p> <p>(2) 特に競技中は、選手やスタッフの妨げにならないようご注意ください。</p> <p>(3) トランジションエリアの立ち入りは、選手、大会関係者のみしか認められません。</p> <p>(4) しかし、ヘルメット・肘当て・膝当て・ライフジャケットの脱着の手伝いで保護者が立ち入ることは、Aクラスのみ1名だけ認めます。</p> <p>(5) 安全を第一優先に開催しますが、万が一ケガや事故などが発生した場合は、応急処置はおこないます。</p> <p>(6) しかし、責任は、一切負いかねますので、加入する保険の適用内での対応になります。</p> <p>(7) 会場へ、車の乗り入れは禁止します。</p> <p>(8) 昨年、残念ながら、選手に手を出す保護者がいました。その場合、記録は無効となります。選手が主役となる大会にしていきたいと思っております。</p>